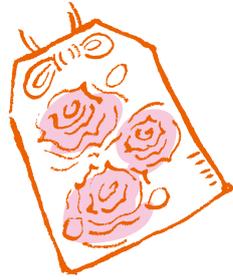


探

訪

癒しのパワースポットを巡る



バラ模様の御守

蠶神社

とも
じんじや



太刀割石

たちわりいし

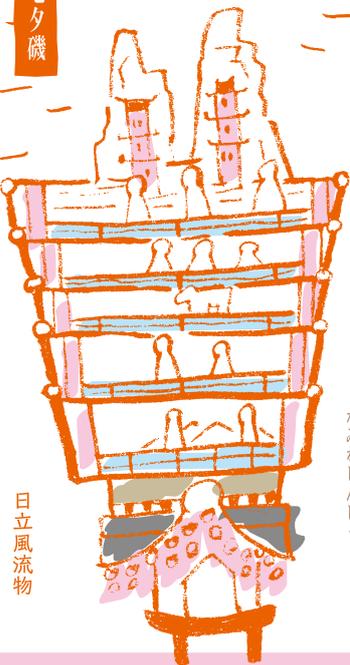
蠶養神社

こかい
じんじや



金色姫

Hitachi feeling



神峰神社

かみねじんじや

市内には、いにしえから多くの
人々の心を癒してきたパワース
ポットが点在しています。

その中から、約一三〇〇年前に
編纂された日本最古の書物の一つ
「常陸国風土記」に登場したり、
あるいは、古くからの言い伝えが
残るなど、特色あるスポットを紹
介します。

本市の豊かな自然や大昔からの
人々の営みが育んできた、本市固
有の「ひたちらしさ」。古くから
私たちの心の拠り所として存在し
ているストーリーは、その「ひた
ちらしさ」の一つでもあります。

身近に残るミステリアスな言い
伝えや歴史などをたずね、心のパ
ワーを充填するとともに本市独自
の物語に触れ、魅力を再発見して
みませんか。

日



流鏝馬
やかきめ

大久保鹿嶋神社

おおくぼかしまじんじや



三本杉

御岩神社

おいわ
じんじや



御岩神社

泉神社

いずみ
じんじや

泉が森



宿魂石

大甕神社

おおみか
じんじや



七夕磯

たなばたいそ



夫婦像

諏訪神社

すわ
じんじや



大久保鹿嶋神社
おおくほかしまじんじや



境内のイチヨウは、^{さかのうえのたむらまろ}坂上田村麻呂が戦勝祈願した際に馬をつないだとの伝説から「駒つなぎのイチヨウ」と呼ばれています。毎年行われる流鏝馬は16世紀に佐竹氏が奉納したことが始まりとされ、400年以上続いている貴重な神事です。
【☎ 33-2025 / 大久保町 2-10-16】

御岩神社
おいわじんじや



「常陸国風土記」に登場し、古来より信仰の地であった御岩山。そのふもとにある御岩神社は、188柱もの神を祀る市内随一のパワースポットと評されています。御神木である「三本杉」の樹齢は600年以上とされており、天狗が住んでいるとも伝えられています。
【☎ 21-8445 / 入四間町 752】

大甕神社
おおみかじんじや



石名坂地方を支配していた星の神「^{かがせお}香背男」が織物の神「^{たけはづちのみこと}武葉槌命」に退治され、その魂が「^{しゆくこんせき}宿魂石」に封じられているとされています。大甕神社はかつて風神山付近にありましたが、^{せんざ}光圀の命により宿魂石の頂上に遷座されました。
【☎ 52-2047 / 大みか町 6-16-1】

泉神社
いずみじんじや



紀元前42年に創建されたと伝わる格式高い神社。傍らの美しい泉は、常陸国風土記にも登場。男女が飲食物を持参し、楽しんだとされています。古くから出会いの場でもあったこの泉には、縁結びの御利益があるといわれています。
【☎ 52-4225 / 水木町 2-22-1】

*本内容は、特定の宗教や主義などを支持するものでなく、また、記載されている伝説・伝承などには諸説あります。

諏訪神社

すわじんじや



諏訪の水穴

ふじわらのたかとし まんねんだゆう
藤原高利（万年大夫）が信州諏訪大社の御分霊を移した
ことに始まります。大夫は、この付近に起こる災害が、諏訪
湖に通ずる水穴と関係があると聞き、自らの夫婦像を社に
納め調査に臨みましたが、ついに戻らなかったとされています。
【諏訪町 3-11-13】

神峰神社

かみねじんじや



神峰山山頂にある奥宮

御祭神のイザナギ、イザナミは日本列島の生みの親。初
めて結婚した神でもあることから、家庭円満の御利益で知
られています。祭礼の時に奉納されるからくり人形芝居「日
立風流物」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。
【☎ 21-0609 / 宮田町 5-1-1】

艦神社

ともじんじや



浜辺に漂着した船の艦（船尾）に御神像が安置してあり、
これを「艦之大明神」と称えたことが由来とされています。
隣接するバラ園には約 800 種類のバラが植えられており、初
夏と秋に咲く美しいバラにちなんだ御朱印や御守が人気です。
【☎ 32-7373 / 十王町友部東 4-1-2】

蠶養神社

こかいじんじや



ようさん
養蚕の神を祀る神社。この神社には、流れ着いた姫が繭
になったという「金色姫伝説」が伝わっています。近くの浜
（小貝ヶ浜）で取れるピンクの小さな貝殻は、サンショウガイ
と呼ばれ、魔除けの力があるとされています。
【☎ 21-0609 / 川尻町 2377 番地】

問合せ シティプロモーション推進課
内線 295・712

